

TAMIYA vol.186 Jr.News

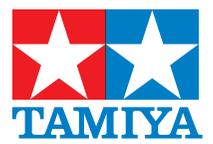


世代を超える“超”ダッシュマシン

仲間とミニ四駆で楽しもう!

ミニ四駆イベント情報

【タミヤジュニアニュース】2016年2月号



ライズエンペラー 1,000円(税別)

世代を超える“超”ダッシュマシン

新マシン「ライズエンペラー」と、そのきっかけとなった歴代の「エンペラー」。深いつながりを持つ2台のマシンを見くらべるのも面白い。そのカタチの背後には、長い歴史を受け継いだ多くの想いが込められているのだ。



ダッシュ1号・皇帝プレミアム 1,000円(税別)

ミニ四駆コミック「ダッシュ!四駆郎」に登場



©徳田ザウルス・小学館 ©TOKUDA-SHOGAKUKAN

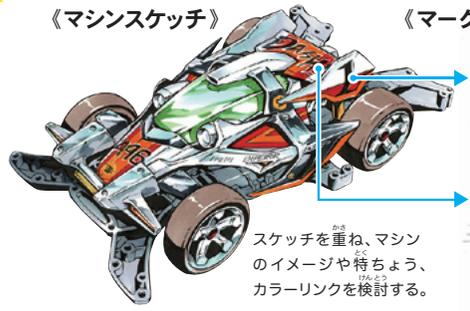


1987年に発売された、レーサーミニ四駆の初代エンペラー

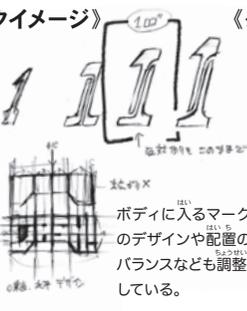
約30年前のミニ四駆マンガ「ダッシュ!四駆郎」に登場し、多くのミニ四駆の中でも高い人気を誇るマシンが「エンペラー」。個性あふれるデザインは今見ても魅力的だ。表紙掲載の6台のマシンは進化を続けるエンペラーの仲間達。長い歴史を持つマシンが、時代を超えて「ライズエンペラー」となって走りはじめたのだ。最新のMAシャーシを採用し、現在のレースでも活やくできる注目の新マシンといえよう。

エンペラーを継承したこだわりの新デザイン

多くのファンから支持を集める「ハイパー!ダッシュ!四駆郎」の作者・武井宏之先生自身が、「シューティングブロードスター」に引き続きマシンをデザイン。細かなディテールまでこだわりぬいた、生まれ変わったエンペラーのデザインがポイントだ。



スケッチを重ね、マシンのイメージや特ちょう、カラーリングを検討する。



ボディに入るマークのデザインや配置のバランスなども調整している。



実物大のクレイ(工業用ねんど)で形状をチエック。マシンのイメージや作りやすさなど、細かな所まで追求デザインが完成する。

コロコロアニキで新マンガ連載中!

《ダッシュ軍団(ウォリアーズ)のメンバー》



日ノ丸 四駆郎 (ひのまる よんくろう) 使用マシン:ライズエンペラー
戸田 弾九郎 (とだ だんくろう) 使用マシン:バーニングサン
南進 駆郎 (みなみ しんくろう) 使用マシン:カガクガク
地味 貢二 (じみ べいじ) 使用マシン:キャノンボール
皇 輪子 (すめらぎ りんこ) 使用マシン:ダンシングドール

アニキ・第4号 大好評発売中!
ミニ四駆ふるふるは特装
ドレスアップステッカー。全国書店で発売中!
546円(税別)

マシン全体の印象はエンペラーだが、細部はすべて異なる。フロントには496(四駆郎)エンブレムを継承。



ライズエンペラーをデザインした武井先生からのメッセージ
エンペラーを引き継ぐのはとても責任の大きな仕事でした。ミニ四駆の歴史を作った名車だからです。その名に恥じぬマシンとなるよう、これからも育てて行くつもりです。

エアロバンテ実車化を記念したメッキマシン。



実車化で話題の「エアロバンテ」がボディとホイールをメッキした特別企画で登場! 要チェック!

★エアロバンテ ゴールドメタリック (ARシャーシ) 好評発売中 Item:95267

★エアロバンテ ブルーメタリック (ARシャーシ) 1月30日(土)発売 Item:95268

★エアロバンテ ブラックメタリック (ARシャーシ) 2月27日(土)発売 各1,000円(税別) Item:95269

仲間とミニ四駆で楽しもう!

3レーンコースで作ろう!!



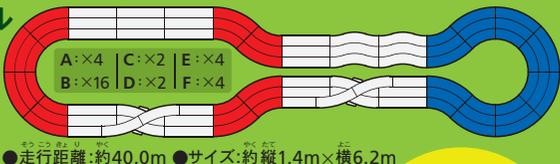
使うコースはコレだ!!

タミヤのミニ四駆サーキットは、直線やカーブ、その他のセクションを組み合わせることで色々なコースレイアウトが作れます。友達どうしなどでサーキットを持ちよれば、タミヤ公認競技会のような大きなコースや、自分だけのオリジナルコースが楽しめる。レイアウト例を参考に仲間とコースを作って、ミニ四駆を走らせよう!

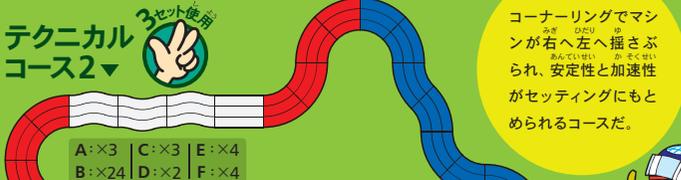
基本コース (1セット)
ミニ四駆 **限定**
ジャパンカップ Jr.サーキット (レッド/ブルー/ホワイト)
19,800円 [税別]



テクニカルコース1▶

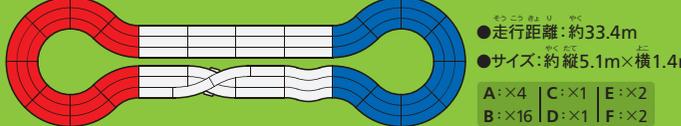


テクニカルコース2▼

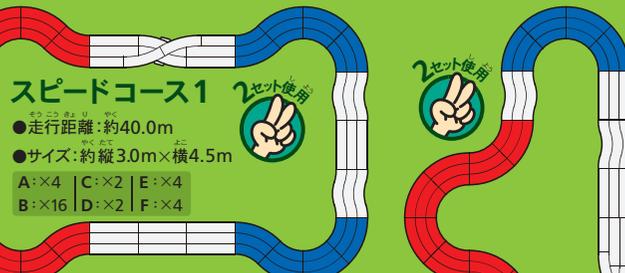


コーナリングでマシンが右へ左へ揺さぶられ、安定性と加速性がセッティングにもとめられるコースだ。

テクニカルコース3▼



スピードコース1



スピードコース2



マシンがコーナリングで減速しにくく、ハイスピードに達するロングストレートがレイアウトされたコースだ。

スピードコース3

●走行距離: 約33.5m
●サイズ: 約縦4.7m×横2.4m

A: ×3 D: ×1
B: ×16 E: ×2
C: ×2 F: ×2

複合コース1



●走行距離: 約53.5m
●サイズ: 約縦4.6m×横3.0m

カーブとストレートが交互に連続する、マシンバランスが必要な複合コース。コースアウトに気をつけよう。

複合コース2



●走行距離: 約53.5m ●サイズ: 約縦2.0m×横6.8m

A: ×6 D: ×2
B: ×24 E: ×4
C: ×2 F: ×4

J-CUPスタイルコースに挑戦!!

これまでに合計100万人以上のミニ四駆レーサーが参加した「ミニ四駆ジャパンカップ」をモチーフにしたコースを作ってみよう!

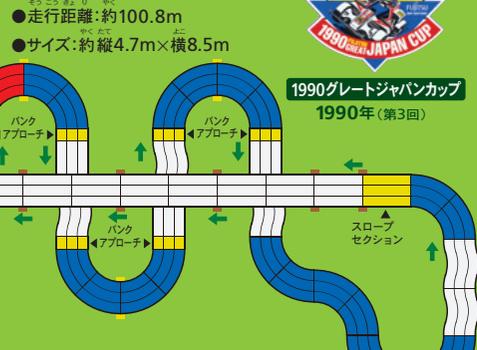
ウルトラグレートダッシュサーキット



今から28年前に開催され、大反響を巻き起こした記念すべき第1回目の公式コースをイメージ。難易度は低めだがJ-CUPの原点を楽しめる。



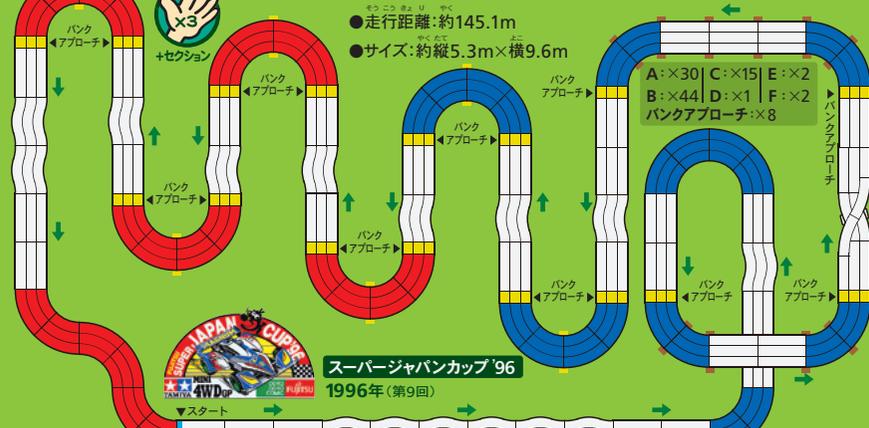
ホライゾンサーキット



レーサーミニ四駆の人気が最高潮に達した1990年のJ-CUPコースを基にレイアウト。超ロングストレートと高低差のあるバンクが連続する難関コースだ。



スーパーサイクロンサーキット



フルカウルミニ四駆が大盛況となり、30万人を超える過去最高の動員数を記録した1996年の「スーパーサイクロンサーキット」をイメージ。コースの規模や長さもスケールアップした、走りごたえ十分の超ビッグサーキットだ。



※歴代ジャパンカップの5レーン公式コースのレイアウトは、タミヤミニ四駆ホームページの「ミニ四駆」ページでご覧いただけます。